

令和元年度第62回全国聾学校理容科・美容科研究大会（愛媛大会） 教育長祝辞

令和元年10月31日（木）
にぎたつ会館

本日は、全国各地から多くの先生方をこの愛媛の地にお迎えして、令和元年度第62回全国聾学校理容科・美容科研究大会が開催されますこととお喜び申し上げますとともに、ご来県を心から歓迎申し上げます。また、皆様方におかれましては、日頃から聴覚障がいのある生徒の自立と社会参加を目指して、理容・美容教育の充実のためにご尽力いただいておりますことに深く敬意を表する次第でございます。

さて、特別支援学校高等部学習指導要領が改訂され、自立と社会参加に向けた教育の充実として、社会的、職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を身に付けていくことができるよう、家庭や地域、関係機関等との連携を図ることが規定されております。各学校におかれましても令和4年度からの実施に向けて教育課程の見直しなど準備が進められていることと推察いたします。

本県の高等部段階における特別支援教育の充実としまして、生徒一人一人の社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる能力や態度を育むため、各学校に特別支援学校キャリア教育推進連絡協議会を設置するなど、発達の段階に応じたキャリア教育を推進しております。また、共生社会の形成に向けて障がいのある生徒とない生徒が互いに尊重し合い、相互理解を深めるため、スポーツや文化芸術活動等の交流や共同学習に取り組んでいるところです。

全国的な傾向として、聴覚障がい特別支援学校に就学・進学する児童生徒は減少傾向であり、さらに、聴覚障がい者の職業の多様化により、理容・美容技術を学ぶ生徒が減少傾向にあると伺っております。しかしながら、理容・美容科は聴覚障がい特別支援学校にとって伝統的な学科として、本県におきましても多くの優れた人材を輩出していることから、今後も、産業現場における理容・美容の実践力が身に付くよう、より高い水準での知識面・技術面での対応を願うところです。

このような中、本日は文部科学省初等中等教育局特別支援教育課特別支援教育調査官の庄司美千代先生をお迎えして、ご講演いただくとともに、今日的な課題について研究・協議などが行われることは大変意義深いことであり、実り多き会となりますことをご期待申し上げます。

愛媛県では、本年11月まで県内東部の3市を舞台に地域振興イベント「えひめさんさん物語」を開催中です。西日本最高峰の石鎚山系や当地におけるものづくり産業、別子銅山などこのエリアならではの物語を紡いでおりますので、ぜひ、この機会に足を延ばしていただけると幸いです。最後になりましたが、本研究大会の開催にご尽力いただきました松山聾学校をはじめ、関係者の皆様にご心から感謝申し上げますとともに、

全国聾学校理容科・美容科研究協議会のますますのご発展と皆様方のご活躍を祈念申し上げ、祝辞といたします。